



君も宇検村の仲間にならないか？

～空き家問題に着目して～

黒崎 小林 西川

○目次○

- 1 課題の選定理由・背景
- 2 現状と課題
- 3 提案策
- 4 提案策のメリット
- 5 提案策のデメリット
- 6 まとめ

課題の選定理由・背景

「移住者が住居を探す難しさ」

「綺麗な村だからこそ、この景観を守りたい！」

宇検村の空き家問題 現状と課題

「住む場所がない移住者」

宇検村 非住居:10 廃屋:3

奄美全体 空き家(非住居+廃屋):183

- 役場の取り組み
 - ・空き家発生の抑制
 - ・宇検村危険廃屋解体徹居補助金
 - ・適切な管理の促進
 - ・空き家の所有者を登記で明確化
 - ・空き家等の利活用の促進
 - ・管理不十分な空き家等の改善
 - ・回収した空き家を10年間貸与

3.提案策

テーマ:「宇検村ライフトライアル～あなたも宇検村の一員に！～」

目的:宇検村に移住を検討している人に宇検村での暮らしを知ってもらう期間を
設けて移住後のミスマッチを減らす

背景:空き家の有効活用の停滞・近年の婚姻率の低下・宇検村の若者率の低下

対象者:宇検村への移住を検討している20～30代の男女かつ自然保護や村
の祭事や文化、伝統に積極的に取り組める方

試用期間:2か月～半年間



4.提案策の **メリット**

【宇検村外の方】

1. 生活のリアルを知ることによって移住後の **ギャップ**を減らす
2. **オーガニックラブ**を掴める



【宇検村内の方】

1. 人口減少による 祭事・環境保護活動 等の **人手不足解消**
2. 文化・伝統の **継承**



5.提案のデメリット

1. 住民の理解不足・受け入れの壁
2. “ライトトライアル”が観光体験となるリスク
3. 住民との摩擦
4. 空き家の管理・改修コスト



5-1.住民の理解不足・受け入れの壁

高齢者や保守的な住民の**抵抗感**

「よそ者」が一時的に滞在することに対して**不安を感じる住民**がいる

理由：**短期間の関わりでは信頼関係が築きにくい**

対策：移住者だけでなく、住民側にも

「受け入れ準備ワークショップ」を実施



5-2.“ライトトライアル”が観光体験となるリスク

移住希望者が本気で定住を考えているか見極めにくい

対策：お試し期間中に地域活動（農業・漁業手伝い、伝統行事参加）

5-3.住民との摩擦

価値観の違いによるトラブル

地域ルール(祭り、農作業など)を守らない移住希望者が出る可能性

対策:事前に「地域のルールブック」を作成し移住希望者に共有

移住希望者と住民の「交流会」をお試し移住の初日に実施

→互いの価値観と初めて顔を合わせる日を大切にする

5-4.空き家の管理・改修コスト

試住のための整備が必要（修繕・家具の提供など）

住める状態にするための準備が必要だが、トライアル期間を経て移住に繋がらなかった際の**資金や労力が課題**

対策：**CF(購入型)**や補助金を活用して負担を軽減

支援者には地域名産品や短期滞在の機会でリターン提供



6.まとめ

1. 課題

→「空き家の活用不足」「移住者の住居問題」「保守的な住民の意見尊重」

2. 提案

→「宇検村ライフトライアル～あなたも宇検村の一員に！～」

3. 展望

→空き家問題の解決によって移住者促進。これにより文化の継承、宇検村をはじめ奄美大島全体の自然保護の達成を目指す！